



9月に行われたイベントなどについてお知らせします

ニッコウクラフトビールフェスタ Nikko Craft Beer Festa

9月6日(金)～8日(日)、ニコニコ本陣多目的広場で、Nikko Craft Beer Festa が開催されました。19種類の栃木のクラフトビールが味わえるイベントで、「発酵の街」にちなんだ食材を使用したクラフトビールやフードも出店。暑さの厳しい初秋の夜は大いに盛り上がりました。



いろいろな味や色が楽しいビール♪



「私たちが日光の魅力をご案内します」

「あいにいく、NIKKO」モニターツアーに参加した新聞記者に、日光を愛するガイドだけが知っている、日光を楽しむための体験ができる全

「あいにいく、NIKKO」の内容はパンフレットの他、市ホームページに掲載しています。詳しくは実行委員会事務局(市観光課内)にお問い合わせください。

さらに市では、市民の皆さんに「地元をもっと知ってもらいたい」と、「あいにいく、NIKKO」ツアーに利用できる1千円分のクーポン券を発行しています。ガイドの説明を聞きながら、ふるさと日光の奥深い魅力をお楽しみください。市民のみ対象で、1人1回の発行です。詳しくは地域振興課にお問い合わせください。

問合先：ツアー…観光課 ☎ 21-5196 / クーポン券…地域振興課 ☎ 21-5147

「あいにいく、NIKKO」モニターツアー

9月6日(金)、市内で観光ガイドツアーを実施している企業や団体が集結した実行委員会が企画・運営する、「あいにいく、NIKKO」日光まるごと体験ツアーの内容を、新聞各社向けに発表するモニターツアーが開催されました。

33ツアーが赤沼自然情報センターで発表されたあと、実際に「戦場ヶ原」ハイキングツアーを日光自然博物館のガイドで体験し、後日、新聞3社がツアーの魅力を掲載しました。

ボランティア・市民活動フェスタ

9月7日(土)、中央公民館などを会場にボランティア・市民活動フェスタが開催されました。19回目となった今回は、過去最高の66団体が参加。「つながる ひろがる うまれる」をテーマに、市民と団体、団体同士が交流を深め、笑顔あふれる1日となりました。



手話を交えた日光市の歌でスタート



笑顔でスタートする参加者



レーザークラフトを説明する生徒

日光ツデーウォーク

9月7日(土)・8日(日)、日光ツデーウォークが日光総合会館をメイン会場に開催されました。初日は世界遺産の二社一寺を中心に歩く「日光の社寺」コース、2日目は大谷川沿いを中心に、市街地やギネスブックに認定されている杉並木を歩く「日光杉並木」コースを設定。20回目となる今回は、前回は上回る延べ1,663名が参加しました。

大阪から参加した久保さんは、「5回目の参加です。疲れたけれど、仲間と楽しく歩きました」と笑顔で話してくれました。

また、日光明峰高等学校の生徒がメイン会場で、レーザークラフトや缶バッジのワークショップなどを行い、イベントを盛り上げました。

※「あいにいく、NIKKO」モニターツアーの写真は、日光市役所でインターンシップ(職業体験)した文星芸術大学3年生の清水さつきさん、上三依水生植物園の写真・記事は、同じく東京外国語大学3年生の増川和美さんによるものです



日光アイスバックス 霧降開幕戦

9月21日(土)、アイスホッケー・アジアリーグのH.C. 栃木日光アイスバックスは日光霧降アイスアリーナでサハリンとのホーム開幕戦を行い、多くの観客が応援に駆け付け、熱い声援を送りました。

試合は相手の堅守に阻まれ、0-3で敗れましたが、バックスの戦いは始まったばかりです。皆さん、ぜひ応援しましょう！



果敢に攻めるアイスバックス



黄色く咲き誇る水生植物、アサザ



紫色が鮮やかなヤマトリカブト

9月初旬、上三依水生植物園を訪れました。秋の花々が咲き始め、涼しい風と共に秋の始まりを感じました。今年の開園期間は11月30日(土)までです。

春には、雪解けと同時に開花が始まります。令和2年は4月15日(水)から開園予定です。幻の花と呼ばれる、ヒマラヤの青いケシは5月下旬から見頃を迎えます。

上三依水生植物園



流派の違う絶妙な音のハーモニー



最後の曲は放蕩の作品の前で演奏

9月21日(土)、小杉放蕩記念日光美術館で、所蔵作品展に関連して「仙境にひびく尺八の音」を開催。「琴古流」「都山流」2つの流派の尺八奏者が競演しました。

戦後、展覧会の審査員など全て辞し、山で仙人のような生活を送った放蕩。観客は、同じ年代に描かれたつも対照的な放蕩の作品の前で、2つの尺八の音色を堪能しました。

音のワークショップ



パパが大好きな樹里ちゃん

9月21日(土)、ニコニコ本陣で第25回全日本赤ちゃんハイハイ選手権大会が開催され、38名の赤ちゃんが、午前と午後の部に分かれて、3.5mのコースをハイハイで競争しました。

午前の部には18名の赤ちゃんが出場し、予選を勝ち抜いた4名が決勝戦に進出。ゴールにいるパパの元へ一直線に向かつて行った。

全日本赤ちゃんハイハイ選手権大会

八木澤樹里ちゃん(猪倉新町)が、18秒の好タイムで優勝しました。レース後は参加した赤ちゃんが集まって記念撮影。会場全体が赤ちゃんたちに癒やされました。



レースでは泣いていた赤ちゃんも、抱っこで笑顔に

秋の交通安全運動 トラックパレード

9月25日(水)、秋の交通安全運動の一環として、今市警察署管内でトラックパレードが開催されました。

ニコニコ本陣で行われた出発式では、今市幼稚園の園児たちが歌声を披露。その後、高速隊のGT-Rパトロールカーや白バイなどがトラックを先導し市内をパレード。市民に交通安全をPRしました。



GT-Rパトロールカーと園児たち